

JR 東日本へのお尋ね：

水素エンジン列車の開発が話題になっていますが、現状・将来計画を教えてください。

(回答を生成しています…)

JR 東日本は、2030 年の実用化を目指して、国内初となる水素ハイブリッド電車「HYBARI」を開発しています¹。HYBARI は、燃料電池と蓄電池を併用するハイブリッド電車で、走行時に二酸化炭素（CO₂）を発生させないのが特徴です¹。また、JR 西日本も、2030 年代に水素で動く燃料電池列車を導入する計画を明らかにしています²。水素燃料車両は CO₂ の排出量削減だけでなく架線や変電所などもいらず、設備の削減にもつながるため、今後、他の鉄道各社もバイオ燃料や再生可能エネルギーの活用を進めることが予想されます。

JR 東日本、国内初の水素車両を公開 30 年実用化へ - 日本経済新聞

<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUC165YE0W2A210C2000000/>